

高知市における量の見込みの推計（案）

Ⅱ．地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

【高知市における量の見込みの推計（案）】

Ⅱ. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

1 時間外保育事業

（事業概要） 11時間の開所時間を超えて保育を行う事業

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

1 時間外保育事業

市域全域 (単位:人)						考察		「②供給」について			
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	○ 高知市における保育時間は【 8:30～16:30(基本), 7:30～18:30(11時間) 】 そのため、時間外保育事業は18:30から30分以上の延長が要件		H24年度実績			
①量の見込み	5,864	5,802	5,727	5,675	5,607			実績			
②供給	2,845							H24	2,845 人		
②-①需給状況	▲ 3,019					○ 国の手引きによる抽出条件は【希望保育時間18時以降】となっている。		H23	2,822 人		
I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)						○ 希望保育時間19時以降を抽出条件とした場合は, 下表のとおり量の見込みが実績値を下回る。		H22	2,869 人		
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	市域全域 (単位:人)					
①量の見込み	2,429	2,402	2,370	2,348	2,334	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
②供給	1,208					①量の見込み	2,109	2,087	2,060	2,041	2,016
②-①需給状況	▲ 1,221					②供給	2,845				
II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)						②-①需給状況	736				
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)					
①量の見込み	2,526	2,505	2,490	2,474	2,429	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
②供給	1,205					①量の見込み	875	866	854	846	841
②-①需給状況	▲ 1,321					②供給	1,208				
III 南部区域(三里, 長浜, 御量瀬, 浦戸, 春野)						②-①需給状況	333				
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)					
①量の見込み	889	872	845	833	823	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
②供給	432					①量の見込み	894	887	882	876	860
②-①需給状況	▲ 457					②供給	1,205				
IV 北部区域(鏡, 土佐山)						②-①需給状況	311				
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	III 南部区域(三里, 長浜, 御量瀬, 浦戸, 春野)					
①量の見込み	14	15	15	14	14	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
②供給	0					①量の見込み	335	329	319	314	310
②-①需給状況	▲ 14					②供給	432				
						②-①需給状況	97				
						IV 北部区域(鏡, 土佐山)					
						年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
						①量の見込み	5	5	5	5	5
						②供給	0				
						②-①需給状況	▲ 5				

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

1 時間外保育事業

・(共通の意見として)全体的に乖離した数値があるので, 精査して, 次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

③ 量の見込みの推計(案)

推計方法(案)

国の手引きによる抽出条件は、18時以降の保育希望者で算定することになっている。
 本事業は、11時間30分を越えて保育を行う事業を対象としており、本市の場合、施設開所時間の関係上、19時以降の保育希望者の算定が当事業に該当する。
 このため、本市の実状を抽出条件に反映した場合、量の見込みが実績値を下回る結果となった(前頁下表参照)。時間外保育事業は、各施設において、保護者ニーズに応じて実施しており、実績値は需要に基づくものと考えられる。
 このため、過去3年間の実績値のうち、一番多い実績を潜在ニーズも含む数として、平成27年度の量の見込みとし、各年度は標準的な算定方法による数値の減少割合から推計してはどうか。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域 (単位:人)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	2,869	2,839	2,802	2,777	2,744
②供給	2,869				
②-①需給状況	0				

I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1,188	1,175	1,159	1,148	1,141
②供給	1,208				
②-①需給状況	20				

II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1,236	1,226	1,219	1,211	1,189
②供給	1,205				
②-①需給状況	▲ 31				

III 南部区域(三里, 長浜, 御豊瀬, 浦戸, 春野)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	435	427	414	408	403
②供給	432				
②-①需給状況	▲ 3				

IV 北部区域(鏡, 土佐山)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	7	8	8	7	7
②供給	0				
②-①需給状況	▲ 7				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

Ⅱ . 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

2-1 放課後児童健全育成事業(低学年)

(事業概要)保護者が就労等により昼間家庭にいない場合など、指導員の見守りにより、子どもの生活の場を提供する。

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

2-1 放課後児童健全育成事業(低学年)

市域全域 (単位:人)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	○ 学年が進むごとに利用率は減少することから、利用実態を考慮すべきではないか。 ※参考 1年生49.3%, 2年生42.7%, 3年生33.6% (H25.5.1入会児童数/児童数)	H25.5.1 入会児童数
①量の見込み	4,567	4,470	4,403	4,289	4,246		実績
②供給	3,412						H25.5.1 3,412 人
②-①需給状況	▲ 1,155						

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

2-1 放課後児童健全育成事業(低学年)

・(共通の意見として)全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

③ 量の見込みの推計(案)

2-1 放課後児童健全育成事業(低学年)

推計方法(案)

学年が進むごとに利用率が減少するなどの利用実態を考慮し、次のとおりの手順で推計してはどうか。
 手順① H24～H26年度における学年毎の利用実態(入会率)を基に、入会率の3か年平均を算定。
 手順② 計画期間における、年齢別人口推計と学校児童数推計に、それぞれ入会率の3か年平均を乗じ、市全体の量の見込みを算定し、校区毎に按分する。
 手順③ 手順②で求めた値の平均値を量の見込みとする。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域 (単位:人)					
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	3,501	3,415	3,373	3,304	3,270
②供給	3,412				
②-①需給状況	▲ 89				

参考:入会率の推移 (単位:%)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均
1年生	48.7	49.3	49.4	49.1
2年生	44.0	42.7	42.7	43.1
3年生	32.8	33.6	32.3	32.9

※平成24・25年度は5月1日の数値。平成26年度は4月1日数値。

※校区別の推計は別紙参照

2-2 放課後児童健全育成事業(高学年)

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

2-2 放課後児童健全育成事業(高学年)

市域全域 (単位:人)						考察
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み	2,026	2,005	1,996	1,985	1,943	
②供給						
②-①需給状況	▲ 2,026					○ 就学児を対象に高知市独自調査を行っているため、そのデータを利用して推計を行うべきではないか。

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

2-2 放課後児童健全育成事業(高学年)

- ・子どもにとって何がこの時期に必要なのかということ踏まえて、設置に取り組んでいただきたい。
- ・老人施設にいる方や定年退職した方の中には子ども好きな方がいると思われるので、そういった方を掘り起こしていきながら、地域の公民館や集会所の中で居場所を確保していく。
- ・学校の校庭を開放してくれる事や地域の状況や子どもによっていろいろな遊び方があるのではないか。

③ 量の見込みの推計(案)

2-2 放課後児童健全育成事業(高学年)

推計方法(案)

- 就学児を対象に実施した高知市独自調査のデータを利用し、次の手順で推計してはどうか。
- 手順① 平成25年10月現在の3年生利用者に対するニーズ調査から、高学年の学年毎の推計利用率を推計。(下表のとおり)
- 手順② 計画期間における、年齢別人口推計と学校児童数推計に、それぞれ高学年の学年毎の推計利用率を乗じ、市全体の量の見込みを算定し、校区毎に按分する。
- 手順③ 手順②で求めた値の平均値を量の見込みとする。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域 (単位:人)					
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1,103	1,098	1,086	1,078	1,047
②供給					
②-①需給状況	▲ 1,103				

高学年の推計利用率 (単位:%)

区分	推計利用率
4年生	21.0
5年生	9.7
6年生	7.9

※校区別の推計は別紙参照

【高知市における量の見込みの推計（案）】

Ⅱ. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

3 子育て短期支援事業

(事業概要)

保護者が、疾病・疲労など身体上・精神上・環境上の理由により児童の養育が困難となった場合等に、児童養護施設など保護を適切に行うことができる施設において養育・保護を行う

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

3 子育て短期支援事業

市域全域						(単位:人日, 0~5歳推計)	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	考察	「②供給」について
①量の見込み	20,829	20,606	20,340	20,155	19,913	○ 国の手引きどおりの算出方法ではサービスを利用したいという意向に基づいているのではなく、サービスを利用する可能性のあるすべての人を計上するようになっている。	H24年度実績
②供給	690						実績(0~5歳)
②-①需給状況	▲ 20,139						H24 690 人日
						○ 国の手引きでは0~5歳の見込み量を算出するようになっている。	H23 702 人日
						○ 事業の対象年齢は0~18歳であるため、事業計画に記載する量の見込みとして、18歳までの推計を行うべきではないか。	H22 710 人日
							実績(0~18歳)
						○ 子どもを預けた時の対処方法として、「ショートステイ」の回答率:79.7%	H24 827 人日
							H23 880 人日
							H22 960 人日

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

3 子育て短期支援事業

・(共通の意見として)全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

③ 量の見込みの推計(案)

3 子育て短期支援事業

推計方法(案)

量の見込みについては、事業の利用実態に沿ったニーズを推計するため、下記のとおりの手順で推計してはどうか。

手順① 国の手引きにおける対象家庭類型のうち、「問7 日頃預かってもらえる親族・知人」で(5 いずれもいない)に回答した者のみについて、推計を行う。

手順② 手順①における家庭について、国の手引きどおりの算出方法により、量の見込みを推計する。

市域全域						(単位:人日, 0~5歳推計)	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
①量の見込み	755	747	737	730	722		

手順③ 事業の対象年齢は0~18歳であるため、18歳までの推計を行うべきと考え、事業実績における0~5歳及び0~18歳の比率を用いて量の見込みを推計する。(過去3か年実績を利用)

(3か年平均実績 0~18歳)÷(3か年平均実績0~5歳)=1.26

(H27見込み 0~18歳)=(H27見込み 0~5歳)×1.26 = 755×1.26 = 951

供給の値については、過去3か年の実績(0~18歳)の最高値を潜在ニーズを含む数として採用してはどうか。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域 (単位:人日, 0~18歳推計)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	951	941	929	920	910
②供給	960				
②-①需給状況	9				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

Ⅱ . 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

4 地域子育て支援拠点事業

(事業概要) 公共施設や保育所等の地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流・育児相談等の事業を行う

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

4 地域子育て支援拠点事業

市域全域 (単位:人日, 0~2歳推計)						考察		「②供給」について	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
①量の見込み	16,942	16,751	16,580	16,402	16,185	○ 利用回数, 希望回数について無回答があるため, 利用の実態を大きく下回る量の見込みになっているのではないかと。 ○ 国の手引きでは0~2歳の見込み量を算出するようになっている。 ○ 事業の対象年齢は0~5歳であるため, 事業計画に記載する量の見込みとして, 5歳までの推計を行うべきではないかと。		H24年度実績	
②供給	38,875							実績(0~2歳)	
②-①需給状況	21,933							H24	38,875
						H23	36,038	人日	
						H22	30,009	人日	
						実績(0~5歳)			
						H24	46,152	人日	
						H23	43,205	人日	
						H22	34,619	人日	

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

4 地域子育て支援拠点事業

・拠点施設を運営しているが, 実際に3歳以上の利用もあるし, 色々な形で子育ての相談等を受けている。
 ・(共通の意見として) 全体的に乖離した数値があるので, 精査して, 次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

③ 量の見込みの推計(案)

4 地域子育て支援拠点事業

推計方法(案)	
<p>量の見込みについては, 事業の利用実態に沿ったニーズを推計するため, 下記のとおりの手順で推計してはどうか。</p> <p>手順① 国の手引きにおける対象家庭類型に, 「問23-1 地域子育て支援センターなどを利用していない理由」で ・(1 近くに地域子育て支援センターなどが無い) ・(2 開催時間・日数等が合わない) ・(3 交通手段がない) ・(4 施設に駐車場がない) に回答した者及び問25の「①親子絵本ふれあい事業「よちよちランド」」の利用希望を加えて推計を行う。</p> <p>手順② 手順①における家庭について, 国の手引きどおりの算出方法により, 平成27年度の量の見込みを推計する。</p> <p>手順③ 国の手引きでは0~2歳の推計の算出であるため, 0~5歳の推計を手順②による量の見込みから, 実績値の比較で算出。 (計算例) 平成27年度 40,074人日 × (46,152 ÷ 38,875) = 47,575</p> <p>供給の値については, 過去3か年の実績(0~5歳)の最高値を採用してはどうか。</p>	

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域 (単位:人日, 0~5歳推計)					
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	47,575	47,041	46,559	46,061	45,450
②供給	46,152				
②-①需給状況	▲ 1,423				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

Ⅱ . 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

5-1 幼稚園における一時預かり事業（1号認定による利用）

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

5-1 幼稚園における一時預かり事業(1号認定による利用)

市域全域 (単位:人日)						考察
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み	472	467	460	456	451	国の一時預かり事業におけるリフレッシュ保育サービスに該当する幼稚園預かり保育のメニューと考えられる。
②供給						
②-①需給状況	▲ 472					

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

5-1 幼稚園における一時預かり事業(1号認定による利用)

・(共通の意見として)全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値をお願いできればと思う。

③ 量の見込みの推計(案)

5-1 幼稚園における一時預かり事業(1号認定による利用)

推計方法(案)

幼稚園による一時預かり保育は、保育所等での一時預かり事業と異なり、事業の範囲内であれば利用要件や日数等に制限がないため、希望があれば利用が可能な状況である。
このため、量の見込みは標準的な算定方法を採用し、供給の値は量の見込みと同じ値を採用してはどうか。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域 (単位:人日)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	472	467	460	456	451
②供給	472				
②-①需給状況	0				

5-2 幼稚園における一時預かり事業（2号認定による利用）

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

5-2 幼稚園における一時預かり事業(2号認定による利用)

市域全域						(単位:人日)	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	考察	「②供給」について
①量の見込み	280,658	277,793	273,495	271,449	268,515	資料1-2の2号認定(幼)による利用を想定。認定こども園, もしくは幼稚園+預かり保育を想定する。	H24年度実績 (高知県に確認)
②供給	102,255						実績
②-①需給状況	▲ 178,403						H24 102,255 人日
						現在幼稚園に通わせている保護者で就労希望があると回答した人が多く見られるため、ニーズ量が多くなっている。	

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

5-2 幼稚園における一時預かり事業(2号認定による利用)

・(共通の意見として)全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。
--

③ 量の見込みの推計(案)

5-2 幼稚園における一時預かり事業(2号認定による利用)

推計方法(案)						
<p>前回の提示内容では、ニーズ量が供給を大きく上回る数値となっていたため、国に対して、対象となる事業内容及び試算方法を再度確認し精査した。その回答を基にすると、幼稚園による預かり保育では、保育所等での一時預かり事業と異なり、事業の範囲内であれば利用要件や日数等に制限がないため、希望があれば利用が可能であると考えられる。</p> <p>また、「B 教育・保育[2号認定(幼)]」の量の見込みを基に試算した値と、ニーズ調査による値がほぼ一致している。</p> <p>このため、量の見込みは標準的な算定方法を採用し、供給の値は量の見込みと同じ値を採用してはどうか。</p>						
推計方法(案)により試算した場合における量の見込み						
市域全域						
(単位:人日)						
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み	280,658	277,793	273,495	271,449	268,515	
②供給	280,658					
②-①需給状況	0					

5-3 一時預かり事業（その他）

（事業概要） 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、主として昼間において、保育所その他の場所において、一時的に預かる事業

① 第4回会議（平成26年3月27日）にてお示した内容

5-3 一時預かり事業(その他)

市域全域						（単位：人日）												
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	考察	「②供給」について											
①量の見込み	106,802	105,656	104,295	103,345	102,100	一時預かり事業では、幼稚園、保育所及び認定こども園（運営費国庫補助施設）の在籍児は利用できないが、量の見込みの算出に含まれているため、ニーズが供給（実績値）と比較して過大になっている。	H24年度実績											
②供給	10,911						実績											
②-①需給状況	▲ 95,891						<table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>10,911</td> <td>人日</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>9,226</td> <td>人日</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>11,273</td> <td>人日</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>11,218</td> <td>人日</td> </tr> </table>	H24	10,911	人日	H23	9,226	人日	H22	11,273	人日	H21	11,218
H24	10,911	人日																
H23	9,226	人日																
H22	11,273	人日																
H21	11,218	人日																

② 第4回会議（平成26年3月27日）内で出たご意見

5-3 一時預かり事業(その他)

・（共通の意見として）全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

推計方法(案)

施設の利用実態に沿ったニーズを推計するため、下記の手順で推計を試みた。

手順① 一時預かり事業は、運営費に係る国庫補助対象施設在籍者は利用できない。

手順② 原則として一時預かり事業が1歳児以上を対象としている。

手順①②に該当する数を控除した量の見込みを推計すると、実績値を大きく下回る値となった(下表)。手順①のみを控除した場合でも、同様な結果となった(平成27年度1,352人日)。

過去4年間に2施設の事業撤退(地図内★印)がある中で、実績値の動向を確認すると、21年度から22年度間では45人日増えているが、22年度から23年度間では、2,047人日減っている。このことから、撤退施設利用者が潜在ニーズとして存在することが考えられる。

★撤退施設:

ふくし園 H22年度末撤退(最終年度実績1,658人日)、横浜新町 H21年度末撤退(最終年度実績 679人日)

このため、平成24年度の実績値に、撤退した2施設の最終実績値を潜在ニーズとして加算したものを平成27年度の量の見込みとし、人口推移から推計した値を各年度に当てはめたものを採用してはどうか。

○ 高知市一時預かり事業(その他)実施場所 ○ H26.4.1時点



○ 手順①②該当数を控除した数値の推移

市域全域

(単位: 人日)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	986	975	962	953	941
②供給	10,911				
②-①需給状況	9,925				

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域

(単位: 人日)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	13,248	13,113	12,910	12,813	12,675
②供給	10,911				
②-①需給状況	▲ 2,337				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

Ⅱ . 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

6 病児・病後児保育事業

(事業概要) 児童が発熱等の急な病気となった場合、病院・保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育する事業

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

6 病児・病後児保育事業

市域全域 (単位: 人日)						考察		「②供給」について	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
①量の見込み	9,460	9,358	9,238	9,154	9,044	○ 手引きどおりの算出方法では、サービスを利用したいという意向に基づいているのではなく、サービスを利用する可能性のあるすべての人を計上するようになっている。		H25年度見込 (4施設)	
②供給	1,695							実績	
②-①需給状況	▲ 7,765							H24	1,387 人日
						○ 予約全体に対するキャンセル率44% (平成25年度実績)		H23	1,370 人日
								H22	1,360 人日

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

6 病児・病後児保育事業

- ・高知市で4施設というのが、少ないと感じる。充実させてほしい。
- ・行ったことのない場所で、知らない先生で、そこに弱っている子どもを連れていく。それは気持ち的にどうなのかと思う。いつも知っているところが安心するのでは。
- ・(共通の意見として) 全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

③ 量の見込みの推計(案)

6 病児・病後児保育事業

推計方法(案)

量の見込みについては、事業の利用実態に沿ったニーズを推計するため、下記のとおりの手順で推計してはどうか。

手順① 国の手引きにおける対象家庭類型のうち、「問7 日頃預かってもらえる親族・知人」で

- ・(5 いずれもない)に回答した者
- ・(2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる)に回答、かつ、
(イ 親族の負担が大きく心配)に回答した者
- ・(4 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる)に回答、かつ、
(イ 友人・知人の負担が大きく心配)に回答した者

のみについて、推計を行う。

手順② 手順①における家庭について、国の手引きどおりの算出方法により、量の見込みを推計する。

市域全域 (単位: 人日, 0~5歳推計)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	4,879	4,827	4,765	4,721	4,665

手順③ 予約全体に対するキャンセル率44%(平成25年度実績)に基づいて、手順②による量の見込みから、実際の利用ニーズ量を算出。

(計算例) 平成27年度4,879人日 × (1-0.44)=2,732

供給の値については、平成25年度開設の施設の利用人数が他の同規模施設と同じ利用人数となることを想定した数を採用してはどうか。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域 (単位: 人日)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	2,732	2,703	2,668	2,644	2,612
②供給	1,950				
②-①需給状況	▲ 783				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

Ⅱ．地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

7 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)

(事業概要)仕事や家庭の都合などで子育ての手助けをしてほしい「依頼会員」と、お手伝いできる「援助会員」が登録し、会員間で助け合いをする有償ボランティア組織

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

7 子育て援助活動支援事業

市域全域 (単位:人日)						考察		「②供給」について		
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度					
①量の見込み	37	36	36	35	35	○ 量の見込みが実績値を大きく下回っている。		H24年度実績		
②供給	3,172									
②-①需給状況	3,135									
						○ ニーズ調査の結果として、事業を利用しているという回答が極端に少なかったこと、及び算定の対象を5歳児に絞っていることから、ニーズ量が少なく算出されたものと考えられる。		実績		
								H24	3,172	人日
								H23	3,097	人日
								H22	2,235	人日

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

7 子育て援助活動支援事業

・(共通の意見として)全体的に乖離した数値があるので、精査して、次回実態に近いような数値でお願いできればと思う。

③ 量の見込みの推計(案)

7 子育て援助活動支援事業

推計方法(案)

国の手引きを用いると、実際の利用者延べ数よりニーズ量が過少に算出されるため、過去3か年の実績の最高値を潜在ニーズを含む数として平成27年度の量の見込みとし、人口推移から推計した値を各年度に当てはめたものを採用してはどうか。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域 (単位:人日)					
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	3,172	3,155	3,127	3,105	3,072
②供給	3,172				
②-①需給状況	0				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

Ⅱ．地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

～ ニーズ調査によらずに推計 ～

8 妊婦健康診査

(事業概要)

妊娠中の異常を早期に発見し、適切な指導・処置を行うことにより妊婦の健康管理の向上を図る

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

8 妊婦健康診査

市域全域						考察	「②供給」について	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		実績	
①量の見込み(人)	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	○ 1人につき14回分を限度に助成。	H24年度実績	
(健診回数)	40,600	40,600	40,600	40,600	40,600		H24	32,993 回
②現在の状況(健診回数)	32,993						H23	33,360 回
②-①の状況	▲ 7,607						H22	32,590 回

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

8 妊婦健康診査

③ 量の見込みの推計(案)

8 妊婦健康診査

推計方法(案)					
平成24年度の乳児家庭全戸訪問事業の対象者数を量の見込みとして採用してはどうか。					
推計方法(案)により試算した場合における量の見込み					
市域全域					
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み(人)	2,813	2,813	2,813	2,813	2,813
(健診回数)	39,382	39,382	39,382	39,382	39,382
②現在の状況(健診回数)	32,993				
②-①の状況	▲ 6,389				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

Ⅱ．地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

～ ニーズ調査によらずに推計 ～

9 乳児家庭全戸訪問事業

(事業概要)

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

9 乳児家庭全戸訪問事業

市域全域						(単位:人)	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	考察	「②供給」について
①量の見込み	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	○対象者:2,813人, 訪問実施者数:2,671人 訪問率 95.0%	H24年度実績
②現在の状況	2,671						実績
②-①の状況	▲ 229						H24 2,671 人
							H23 2,694 人
							H22 2,797 人

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

9 乳児家庭全戸訪問事業

③ 量の見込みの推計(案)

9 乳児家庭全戸訪問事業

推計方法(案)						
平成24年度の乳児家庭全戸訪問事業の対象者数を量の見込みとして採用してはどうか。						
推計方法(案)により試算した場合における量の見込み						
市域全域						
(単位:人)						
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み	2,813	2,813	2,813	2,813	2,813	
②現在の状況	2,671					
②-①の状況	▲ 142					

【高知市における量の見込みの推計（案）】

Ⅱ . 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

～ ニーズ調査によらずに推計 ～

10 養育支援訪問事業

(事業概要)

養育支援が特に必要な家庭を訪問し、保護者の育児・家事等の養育能力を向上させるための支援を行う

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

10 養育支援訪問事業

市域全域 (単位:件)						考察		「②供給」について	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
①量の見込み	620	620	620	620	620	○ 訪問実家庭数:39件, 訪問延べ件数:622件		H24年度実績	
②現在の状況	622								
②-①の状況	2							実績	
						○ 平成25年度見込: 実家庭数16件, 延べ477件		H23	648 件
								H22	714 件

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

10 養育支援訪問事業

③ 量の見込みの推計(案)

10 養育支援訪問事業

推計方法(案)					
訪問件数は減少傾向にあるため、過去3か年の実績の最少値を平成27年度の量の見込みとし、人口推移から推計した値を各年度に当てはめたものを採用してはどうか。					
推計方法(案)により試算した場合における量の見込み					
市域全域 (単位:件)					
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	622	619	614	609	603
②現在の状況	622				
②-①の状況	0				

【高知市における量の見込みの推計（案）】

Ⅱ . 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

～ ニーズ調査によらずに推計 ～

11 利用者支援事業 (新規)

(事業概要)教育・保育施設や地域の子育て支援の事業等の利用について情報集約と提供を行うとともに、子どもや保護者からの相談に応じ、必要な情報提供・助言をし、関係機関との連絡調整等を行う

① 第4回会議(平成26年3月27日)にてお示した内容

11 利用者支援事業

市域全域						考察
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み	1	1	1	1	1	○問21(子育ての情報の入手方法)のうち、「入手できていない」の回答:4.0% ○問22(子育ての環境や支援について)のうち、「子育てに関する情報が豊富」の回答「不満」:16.9%
②供給						
②-①需給状況	▲ 1					

② 第4回会議(平成26年3月27日)内で出たご意見

11 利用者支援事業

③ 量の見込みの推計(案)

11 利用者支援事業

市域全域					
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1	1	1	1	1
②供給					
②-①需給状況	▲ 1				